保護者・地域とのかかわり

保護者・地域参加型の授業

はじめはずかしそうでしたが、時間が経つにつれて、手が挙がったり発言があったりしたので、この子達なりに考えているんだなぁと思いました。まだまだ気持ちのコントロールができない年代だと思うので、道徳の授業を通して、思いやりや優しさ、許すことなどの大切さを学んでいってほしいなと思いました。

人とのかかわりの中で道徳はとても大事なことだと思います。私たちの時代は親、兄弟、世間の人との中で、自然とあたり前のように身に付けてきたと思います。これから、人の気持ちのわかる思いやりのある子供に育ってくれることを願っています。

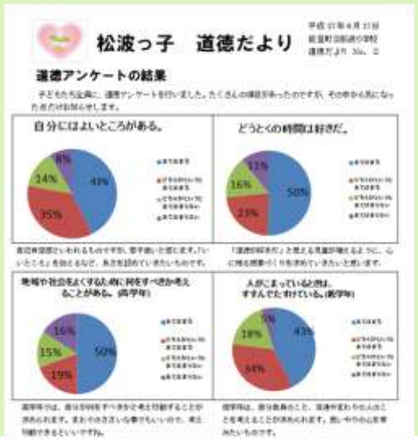
保護者の声

道徳の授業は算数や国語のようにきまった答えがあるわけではないので、いろんな意見や思いもよらない答えがあって、とても良い授業だと思いました。道徳を通して、命の大切さやいろんな人の思いを感じ取れるようになってほしいです。道徳教育に力をいれていく。賛成です。

後半で、おじいちゃんおばあちゃんからのメッセージは本当にあたたかい言葉で感動しました。私達親の世代にとっても心に響きました。人生の先輩からのメッセージをおねがいする授業をぜひ続けてほしいです。

地域での体験活動

保護者への発信



価値について考えさせる道徳の時間

気付く

深める　※価値について考える

見つめる

あたためる

価値について気付かせる導入

資料について関心を高める導入

多様な考えが導き出される中心発問

・登場人物の心の変容がある場面で、多様な考えを導き出す発問をする。

対　話

<なぜなにトーク>
どうして？
どういうこと？
(対話例)
A 乙武さんは体のことを気にしてなかったと思うよ。
B どうしてそう思うの？

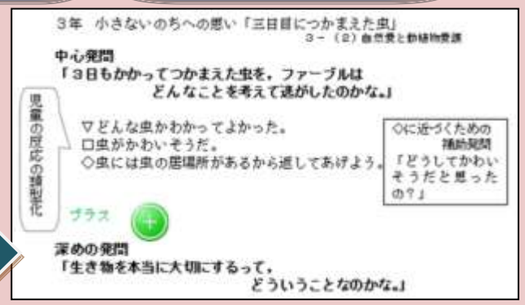
児童の反応の類型化

▽
□
◇ (目指す児童の思い)

◇に近づくための補助発問

・ペアやグループでの交流で本音をトーク！

・対話を通しての気付きや深まりを全体へと発表する。



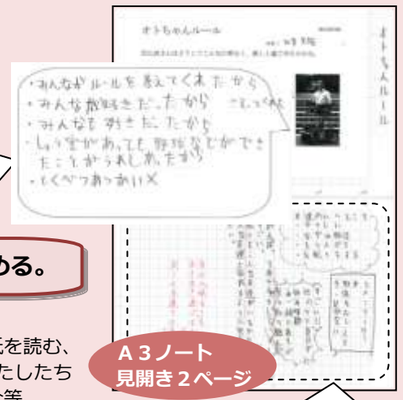
深めの発問

(例)・「本当の○○とは、なんだろう。」
・「～するためには、どうするといいだろう。」
・「○○は、なんのためにあるのだろう。」

自覚化へとつなげる。

・自分の生活や経験と価値を重ねて、これまでの自分自身をみつめる。

中心発問に対する考え・思い
(ワークシート貼り付け)



価値に対する思いをあたためる。

・本時のまとめにふさわしい終末を！
ゲストティーチャーの話を聞く、手紙を読む、写真をみる、教師の説話を聞く、「わたしたちの道徳」の利用、ことわざや詩の紹介等

・何を学んだか、何を感じたかを振り返り、学んだことを確かめ広げる。

A３ノート
見開き２ページ

授業の振り返り
(授業の最後 or 家庭で)

**児童に抱いてほしい思いを
具体的なゴールの姿として、明確にもつ。**

（例）２－（４）寛容・謙虚
人はそれぞれ考えがちがうけど、ちがうといって否定するんじゃなくて、相手の考えをわかろうとしたり、認めようとしたりするといいんだな。

学校生活全般とのかかわり

別葉を改善し重点項目を明確化

Before　全体を網羅した別葉があるだけ…

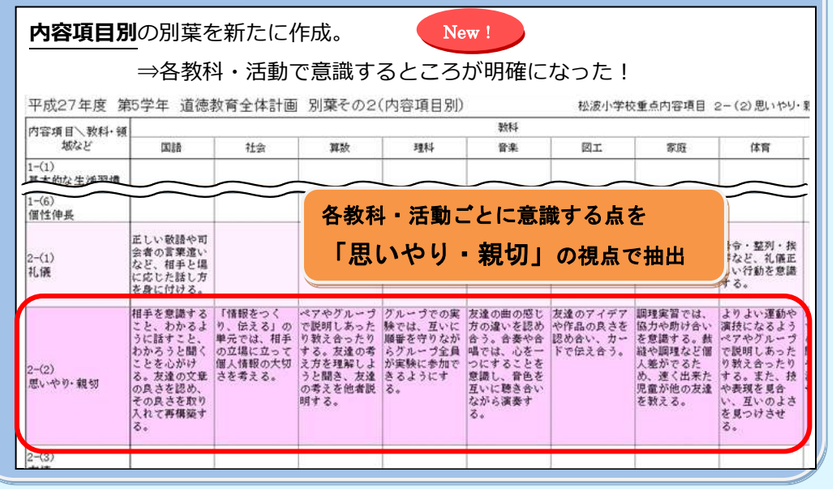
「伝えよう！」「聞き取ろう！」という気持ちが表れれば、話し合いも楽しいし、良い考えも見つかるね。
～国語科～

After

時間を守るということは、相手のことを考えていること…
～自然教室出発式
校長先生のお話～

重点項目に色づけし、**毎月評価と手立て**を全職員で協議
⇒**2-(2)思いやり・親切**に即した統一した声かけへ change！

内容項目別の別葉を新たに作成。　New！
⇒各教科・活動で意識するところが明確になった！



各教科・活動ごとに意識する点を
「思いやり・親切」の視点で抽出

思いの交流「心の木」

授業の足跡「心の窓」